

令和3年度第1回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

1 日 時

令和3年8月6日（金）から令和3年8月30日（月）まで

2 場 所

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催

3 出席者

- (1) 委 員 伊藤正樹委員、井村進委員、岩上章子委員、岡野龍夫委員、岡山尚美委員、菊池まり委員、木村ユミ子委員、工藤和博委員、工藤嘉生委員、佐久間文子委員、鈴木金作委員、関谷輝市委員、染谷英樹委員、内藤八洲夫委員、深味肇委員、古沢幸子委員、別所千恵子委員、星野正子委員、眞智洋二委員、松川智子委員、松原正道委員、宮永稔委員、茂手木直忠委員、森松助委員、吉岡加代子委員

※25名中 25名が出席

4 会議の概要

(1) 委員長・副委員長・広報委員の選出について

委員長に鈴木金作委員、副委員長に井村進委員、内藤八洲夫委員、広報委員に岩上章子委員、菊池まり委員が全会一致で承認された。

また、委員から、このような状況下でお引き受けいただいた各位に対して、感謝のことがあった。

(2) 稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（平成30年度～令和2年度）について

千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会に資料として提出することについては、全会一致で承認をいただいたが、委員から新型コロナウイルス感染拡大のため、なかなか地域活動が進められないこと、また、地区部会の解散を踏まえ、区全体の活動となるよう努めるべきではないかとのことをご意見をいただいた。その他、人口数値等についてもご意見をいただいた。ご意見をふまえた修正について委員長の了承を得て、提出した。

(3) 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画の策定について（お願い）

より具体的な地域課題のニーズ調査、zoom や LINE などを活用した地域の繋がりづくり、オンライン環境作りのための予算を求める意見、地域の近場に気軽に集まれ、雑談が出来る場所が欲しいという意見、第4期の区計画の基本目標で地域防災に言及しているのが花見川区のみで、災害時に大きな被害が予測される中央区、稲毛区の区計画では言及されていないのは如何なものかという意見、計画の推進策定体制の連絡調整がうまくいっておらず、責任者不在で機能不全に陥っている印象でもう少し千葉市がリーダーシップを執って進めるべきではないかなどといった意見があり、計画策定を所管する地域福祉課に報告した。

(4) 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画の原案について

千葉市基本計画の目指すべき区の姿が引用されているが、内容には関連性がない。稲毛区の現状・課題がよくわからない。WEB アンケートの結果は、市民全体の意見として考える場合、割引いて考える必要がある。共生社会、多分野横断での支援、複合困難事例で実感する(できる)現状の提示があるといい。CSWには広くいうと多くの人がいると思う。公民、分野、CSWやコーディネーターと名のついていなくても、地域でそういった役割の人の声を聞く、交流する、支援することがもっとできれば良い、ネットワークが大事。コロナウイルスの影響がしばらく続くので、今回はきっちり決めず、都度、状況に応じて変更したり、つけ加えたりしていけばよい、などの意見があり、事務局において対応を検討し、所要の反映を行って計画を策定することとなった。